

あ と が き

本校の自己点検・評価に関する報告書は、過去4度（平成6年、11年、18年、23年のそれぞれ3月）「明石工業高等専門学校の現状と課題」と題して発行されてきた。この度の報告書は、平成23年から平成27年までの5年間について点検と評価をおこなったものである。これまで発行されてきた報告書との対比が容易にできるように様式を整えてまとめた。

平成18年度より、各年度において有識者懇談会を外部評価委員会と位置づけ、各年度開催しているが、平成23年度以降も同様の開催を継続し、直近の開催においては特に本校が今後育成していくべき人材像をテーマにしてきた。この5年間の学校の方向性は育成していくべき人材像と大きく関連しており、平成24年度に大学間連携共同教育推進事業として防災技能を有した技術者教育、平成26年度に大学教育再生加速プログラムのアクティブ・ラーニングがスタートし、同じく平成26年度に国立高専機構からグローバル高専モデル校の選定を受けた。各事業の推進により学校が活性化し、教育改善が進んでいくことが期待される。

学校を取り巻く環境の変化に応じた取り組みは今後も継続されるべきであり、その基礎となる学生の基本的教育はそれ以上に重要な位置づけとなっていくものと考えられる。したがって、本報告でまとめられている地道な活動に対する改善の積み重ねが次の機会に評価されるよう取り組んでいかなければならない。

最後に本報告書の作成にあたり各章の担当の皆様と関係教職員に厚くお礼申し上げます。

明石工業高等専門学校将来計画・自己点検等委員会
自己点検・評価報告書作成ワーキンググループ